

# 図書館便り

## 《図書館の編集》

図書館長 今田 浩之 (一般教養)

《図書空間の編集》。昭和47年に竣工した図書館は、昨年の改修前の時点で、2階に、開架の「図書閲覧室」「雑誌閲覧室」「学習閲覧室」と「図書事務室」があり、また2階と1階に閉架「書庫」がありました。

改修工事で壁の撤去等が行われ、2階の開架スペースは、1つの「閲覧室」へと統合されました。「閲覧室」では、新聞・雑誌架や新着・企画展示架を入口付近に設け、その先の北側に図書の書架群を、南側に閲覧机を、いずれも方向を揃えて配置しました。折々の必要性から家具が増設され、入り組んだ配置であった以前の状況は解消されました。(「学習閲覧室」は、「アクティブラーニングスタジオ」へと転じました。)

《図書配架の編集》。図書館には、学生の皆さんによる「クラス希望図書」や「リクエスト図書」、先生方からの「コース等推薦図書」を基本に、例年600~1,000冊の図書が新規登録されています。それらは順次「図書閲覧室」に配架されたのですが、スペース確保のため同規模の図書が「書庫」に移されます。そして、やはりスペース確保のため「書庫」から同規模の図書が除籍措置されました。長年の登録・除籍慣行の結果、「図書閲覧室」では、新規図書の入っていない棚に古い図書が多数残存し、また「書庫」には、保管に値する図書とスペースの関係で閉架措置になった図書とが混在しておりました。

昨年の11月下旬、新しい「閲覧室」は、改修前にコース等別で先生方に厳選いただいた閲覧提供に値する図書を優先配架して、サービスを開始しました。その後、2つの「書庫」につき、半年以上の時間をかけて、保管すべき図書の選定を行いました。近時、不用図書を除籍し、順次引取のご案内をしておりますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

## 教員推薦図書

各コース等の先生方に、お薦めの図書を紹介していただきました。ここで紹介している図書は、図書館に所蔵していますので、ぜひ手にとってみてください。

### 【一般教養】 新井 修

#### 勝てる!理系なテニス

田中信弥、松尾衛 著

本書の特徴は、一つのお題に対して、元プロテニスプレーヤーと物理を専門とする東京大学教員が回答しているところにあります。言い換えるとプロ選手の高い経験則と力学を専門とする教員のエビデンスで本書は成り立っています。

これまでのスポーツ指導は、高いスキルを持った指導者の運動内観を言語化し、プレーヤーにコミットしていくのが主流でありました。しかし、近年スポーツ界において「エビデンス・ベースド」の考え方が浸透してきており、「なぜそうなるのか」を力学的に解説することが重要とされるようになってきました。本書は双方の立場の考え方を融合して、最適解を導き出しています。

これからのスポーツ現場においては、コーチだけでなく、プレーヤーがこういった視点に立ち、パフォーマンスの向上に努めるべきであります。手前味噌にはなりますが、昨年度から体育教員による「部活動支援のためのスポーツ科学講習会」を開催しています。講習会の趣旨については、本書のねらいと合致する点が多く含まれております。興味があれば是非ご参加ください。

### 【電気コース】 香西 貴典

#### 図解入門 よくわかる最新電気の基本としくみ

藤瀧和弘 著

身近な電化製品を例に挙げながら、電気の基礎を簡単に解説した入門書です。現在、私たちの生活を豊かで便利にしている電化製品ですが、この本では電気に関する様々な性質や仕組みについて図表が用いられており、わかりやすく解説されています。難しい法則や計算などはあまり記述されていないので気軽に手に取ってみてください。

これから電気・電子について学ぼうと考えている学生さんにとっては、勉強する動機づけや電気的現象を製品に応用するときの事例などが書かれているので最適かもしれません。3年生以上の学生さんには入門書なので少しもの足りないかもしれませんが、この本で全体像を把握してから、次の専門書を探す手助けになると思います。また、気になる分野に関する章を中心に読むのもよいと思います。

専門で学んでいる学生さんだけでなくそうでない人も、目に見えない電気について勉強してみたいかたがでしょうか?

### 【建設コース】 松保 重之

#### 橋梁工学 第5版

橘善雄 著

名著だ。古い本で分厚い。でも、私が専門とする構造工学は古い学問で、既に体系が出来上がっていて、学校で教えるべき事柄は変わっていないのだから当然のことなのだ。いくら人工知能(以後AI)が出てきて、構想・計画から維持管理までの全てを完全自動でやってくれる世の中が来るにせよ、それには未だもう少し時間が必要だろう。仮に、完全自動化の世の中が来て、どんな問題点があって、それを解決するには、どんなに大変なことなのか、くらいは知っておかないと、AIが作ってくれた社会基盤を見たとしても、人間は全く感動が湧かないだろう。また、そんな工夫を他の問題に応用することすら思いつかないだろう。人間の創造的活動までもAIに明け渡してしまうような怖い世の中とならないために、基本的な事項、その背景などを知っておきたい。しかし、昨今の書籍は不人気で、値段を下げるため紙面を少なくし、背景や詳細は割愛される傾向にある。そこで、この本の紹介に戻るが、この本は版を重ねて改良され、また、紙面を割愛することなく詳細に解説している。読みやすい本ではないかもしれないが一冊の中に基礎的事項・背景・必要性など、良くまとまって書かれている。是非、参考にして頂きたい。

### 【機械コース】 伊丹 伸

#### 新しい1キログラムの測り方

白田孝 著

来年5月20日に質量の単位kg(キログラム)の定義が改定されることを皆さんご存じでしょうか。現在の国際単位系(SI)では7つの基本単位(長さ、質量、時間、電流、熱力学温度、物質質量、光度)が定義されています。その基本単位の中で唯一人工物(国際キログラム原器:直径および高さとも約39[mm]の白金とイリジウムの合金でつくられた円柱状のもの)によって定義されているのが質量です。この国際キログラム原器は、破損したり摩耗したりしないように厳重に室内で保管されていますが、その基準が極わずかに変動(最大50マイクログラム:指紋1個相当)していることが最近わかってきました。日常生活にはほとんど影響しないほどの大きさですが、今後の科学技術の進歩を阻害する恐れが出てきたのです。そこで、人工物に依存しない新しい定義(プランク定数による定義)を求めて、計測に携わっている世界中の研究機関が協力して開発を続け、ようやくその目処がついたということです。なお、質量の定義改定に伴って、電流の単位アンペアと物質量の単位モル、およびこれらの3単位とは独立に熱力学温度の単位ケルビンの定義も改定されます。

この書籍には新しい質量の定義、単位の成り立ちや歴史およびその変遷などがわかりやすく解説されています。本書を通して普段何気なく使っている単位への興味や理解を深めてください。科学技術や計測技術の進歩に伴って、単位が変わってきていることに気付かされるでしょう。

### 【情報コース】 太田 健吾

#### 現代暗号入門 いかにして秘密は守られるのか

神永正博 著

「4056203」という数字を因数分解してください、と言われてすぐに解ける人はいるでしょうか?答えは「1061×3823」ですが、電卓を使っても多くの人には難しいでしょう。しかし、逆に1061×3823という掛け算をするだけなら電卓を使わなくても解けるでしょう。このように、掛け算は簡単だが、その逆の因数分解は難しいという性質を利用したRSA暗号の技術が、インターネットショッピングやマイナンバーカードの個人認証に使われています。こうした身近な場面で人知れず活躍している現代の暗号技術を、本書は高校2年生程度までの数学で理解できるようにわかりやすく解説しています。

インターネットで私たちが入力しているパスワードは本当に安全なのか?(第2章 ハッシュ関数)、暗号通貨ビットコインはどういう仕組みで動いているのか?(第4章 楕円曲線暗号)、ICチップの消費電力から暗号がバレてしまうって本当?(第5章 サイドチャネルアタック)など、素朴な疑問の答えを本書で読み解いていくにつれ、私たちの秘密社会が極めて高度な技術によって守られていることが実感できるでしょう。

### 【化学コース】 杉山 雄樹

#### ふわふわの泉

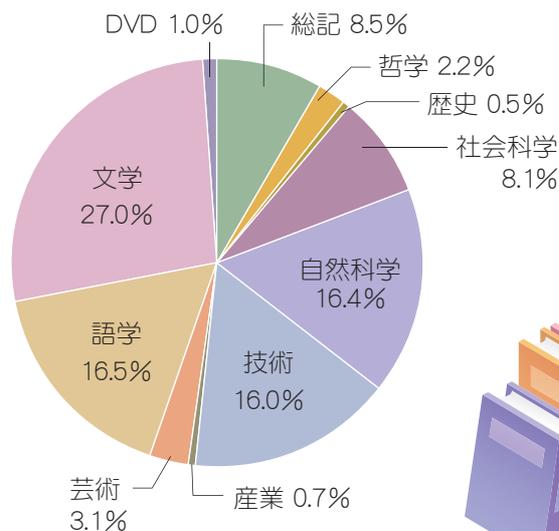
野尻抱介 著

「努力しないで生きること」。本書の主人公である浜松西高校化学部部長・浅倉泉の目標である。部員の廻とともに文化祭の出し物であるフラーレン合成実験の際に、偶然に自身が真空であるジャポーン玉のような物質を生み出した。この物質はモース硬度10、すなわちダイヤモンドと同等もしくはそれ以上の硬さを持ち、空気よりも軽く、膜厚1nmという驚異的な物質であった。泉たちはその物質を「ふわふわ」と名付け、新しい材料として様々なものを開発していく物語である。本書は、化学好きの女子高生から物語は始まるが、気づくとSFの展開になっているところや、「努力しないで生きること」ということがどのように関係しているのかが面白い。また、随所に化学系の専門用語や装置が登場しており、知っている人はクスクスとくるかもしれない。さらに、この物質は空想上のものではないこと、科学的な考察やある素材への展開もかなりリアリティがあり、実際に研究もされているものである。本書は非常にテンポよく描かれており大変読みやすく、少し時間が空いたときは是非手にとっていただきたい。

# 図書館利用統計

## 平成29年度 分類別貸出冊数

分類	貸出冊数
総記	301
哲学	78
歴史	18
社会科学	288
自然科学	582
技術	571
産業	24
芸術	110
語学	588
文学	962
D V D	37
合計	3,559



## 平成29年度 分類別貸出ランキング第1位

分類	回数	書名	著者名
総記	7	Pythonで学ぶディープラーニングの理論と実装	斎藤 康毅
哲学	5	ヤバい心理学：眠れなくなるほど面白い	神岡 真司
歴史	2	争点 日本の歴史 1 原始編	鈴木 公雄
社会科学	8	乙種4類危険物取扱者試験 平成27年版	資格出版
自然科学	25	編入数学徹底研究：大学編入試験対策	桜井 基晴

分類	回数	書名	著者名
技術	22	工業英検 3級対策	日本工業英語協会
産業	3	会社四季報業界地図 2017年版	東洋経済新報社
芸術	5	怖い絵	中野 京子
語学	49	TOEICテスト 新公式問題集 Vol.6	Educational Testing Service
文学	8	蜜蜂と遠雷	恩田 陸



## 図書館からのお知らせ



**開館時間**

- 平日 9時～19時 (休業期間中は、9時～17時)
- 土曜日 11時～17時 (休業期間中は、休館)
- 日曜日・祝日 休館

★図書館は保護者の方、一般の方もご利用になれます。  
貸出を希望される場合は、身分証明書(運転免許証など)をご持参ください。

**貸出冊数** 5冊まで (休業期間中は、10冊まで)

**貸出期間** 15日間 (休業期間中は、延長)

★館内資料の文献複写(著作権法の範囲内での有料複写)や、DVDコーナーもご利用いただけます。  
★詳しくは図書館までお問い合わせください。

**TEL** 0884-23-7106 **E-mail** tosho@anan-nct.ac.jp

★ホームページにて、蔵書検索や利用案内、開館カレンダーなどもご利用いただけます。

**URL** [http://www.anan-nct.ac.jp/facility\\_guide/library/](http://www.anan-nct.ac.jp/facility_guide/library/)



### 投書箱

図書館では、学生のみなさんのリクエストを受け付けています。  
読みたい本や、学習や研究で使う本などがありましたら、閲覧室カウンターの投書箱へ投函してください。